

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	whale		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 21日		～ 令和6年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 2日		～ 令和6年 12月 2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 12月 13日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育を1対1で取り組んでいること。	小学6年生で終了できるように、各児童に合わせた療育内容を意識している。 ひとり一人に合わせた支援内容を制作している。 同じ職員が担当しないように順番に対応し、全職員で共有できるようにしている。	左記の内容で今後も対応する。
2	集団療育で「運動」「認知」を各15分前後取り組んでいること。	児童が自分の特性に気付き、自ら改善できるような内容を工夫している。 他者とのコミュニケーション向上も兼ねた内容を意識して取り組んでいる。	左記の内容で今後も対応する。
3	第2土曜日に「製菓」第3土曜日に「調理」に取り組んでいること。	児童が楽しみながらできることを増やし、自己肯定感を向上できるように取り組んでいる。	左記の内容で今後も対応する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	車椅子児童の対応が難しいこと。	玄関までが階段、普通用トイレしかない、車いすの方の更衣スペースがない、来間椅子を置くスペースがないこと。	建物の構造上難しく、改修工事に費用が掛かる。
2	送迎範囲が決まっていること。	個別療育、集団療育の時間の関係上、片道10分以上の送迎場所は難しいこと。	遠方の方は、保護者送迎での対応となる。
3			